

コスモス 10月号

第69巻 第10号

◆宮柁ニカレンダー（31）十月の歌

すずしさよ十月十日の夕つ日は西よりぞ射す
はや傾きて
歌集『純黄』

『純黄』は第十一歌集。抽出歌は昭和五十七年の「短歌研究」に掲載された「夕べの闇」の冒頭の作品である。五十七年は柁二が七十歳を迎えた年、体のあちこちに不調をきたしていたころだ。

病床の柁二にとって秋の涼しさは本当にありがたいものだったのだろう。「十月十日」と詠んでいるのは、この日が当時「体育の日」だったからである。並んで〈晴れわたる体育の日も運動をなし得ずなりし我をかなしむ〉と病の身を嘆く歌がある。抽出歌にも、明るい悲しみが滲む。
(水上比呂美)